

府民の参加・行動

○ローカルアジェンダ 21 推進事業 (2,743 千円)

・豊かな環境づくり大阪府民会議における「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定と、行動の推進

2012 年度の取組: 府民会議の開催(企画委員会 2 回、総会 2 回)、2012 年度版「行動計画」の作成・配布(300 部)
 2012 年度の実績: 府民会議開催、「行動計画」策定を予定通り実施(節電の取組みについて重点的に検討)
 自己評価:☆☆☆ 府民会議総会を 2 回開催し、大阪行動計画の策定、事業実施につなげた。

○環境情報プラザ(環境農林水産総合研究所内)の管理運営 (1,062 千円) ※)

・環境情報の提供、環境活動の拠点施設の管理運営

2012 年度の取組: プラザ利用者:15,000 人/年、環境 NPO 等とセミナー開催:2 回
 2012 年度の実績: プラザ利用者:14,257 人/年、環境 NPO 等とセミナー開催:2 回
 自己評価:☆☆☆ プラザ利用者は目標を下回ったが、前年度より約 500 人増加。セミナー開催数は想定どおりであり、環境活動を促進できた。



子ども環境デー

低炭素・省エネルギー社会の構築

○「大阪府温暖化の防止等に関する条例」に基づく排出抑制対策の推進 (1,197 千円)

・エネルギーを多く使用する事業者(特定事業者)への温室効果ガス・人口排熱の排出抑制の指導や啓発

2012 年度の取組: 特定事業者の温室効果ガス排出量の前年度比 1%減
 2012 年度の実績: 計画期間中(2009~2011 年度)の温室効果ガス排出量は基準年度から年平均で 1%削減
 自己評価:☆☆☆ 2010 年度は猛暑等で排出量増、2011 年度は震災後の節電により改善。

○省エネ・省 CO₂ 相談窓口の設置・運営 (12,591 千円) ※)

・中小事業者が相談できる省エネ・省 CO₂ 対策の相談窓口を設置し、省エネ・省 CO₂ の取組みを支援

2012 年度の取組: 相談・支援等の件数 200 件
 2012 年度の実績: 2012 年 4 月に相談窓口を開設、724 件の相談・支援等(セミナー出席も含む)を実施。
 自己評価:☆☆☆☆ 省エネ診断、セミナー等開催を通じて、中小企業の省エネ・省 CO₂ 対策の普及促進ができた。

◎エネルギー対策の推進 (231,443 千円)

エネルギーの地産地消を目指した新しいエネルギー社会の構築に向けて、以下のような対策に取り組む。

- ①省エネ型ライフスタイルへの転換
- ②再生可能エネルギー等の普及拡大
- ③電力需要の平準化と電力供給の安定化
- ④新エネルギー関連産業等の振興

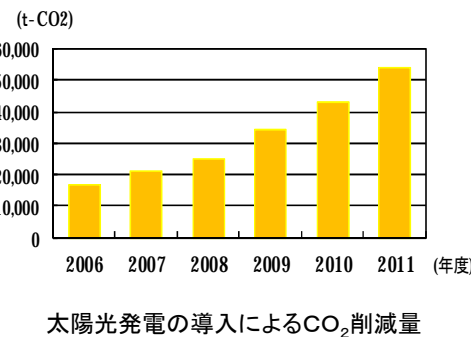
2012 年度の取組: 中長期的な施策の方向性をとりまとめる。

2012 年度の実績:

- ・環境審議会新たなエネルギー社会づくり検討部会の開催(8 回)
- ・住宅用太陽光発電設備設置特別融資事業:融資実績 280 件
- ・コージェネレーションシステム等稼働支援事業:補助実績 4 件
- ・都市インフラを活用した企業技術支援事業:3 事業者決定
- ・太陽光パネル普及啓発事業:登録事業者 3 社
- など

自己評価:☆☆☆

- ・必要性、緊急性が高い施策の取組
- ・府環境審議会の答申等を踏まえ、中長期的な施策の方向性について検討



資源循環型社会の構築

○循環型社会推進計画の推進 (1,399 千円)

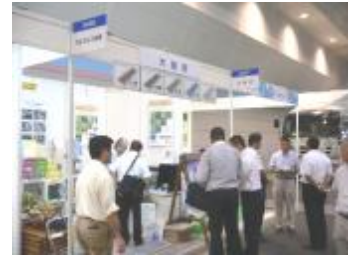
・府域における生産・流通、消費、再生・処理、最終処分の各段階における資源の循環的利用に向けた取組みを促進し、資源循環型の社会を構築するため、2012 年3月に策定した循環型社会推進計画を推進

2012 年度の取組: 施策実施状況把握、計画の進行管理表作成
 2012 年度の実績: 市町村の施策の把握、全市町村対象の説明会を開催し取組み要請
 自己評価:☆☆☆ 計画推進について市町村の理解を得た。

○再生品普及促進事業 (461 千円)

・なにわエコ良品の認定、「なにわエコ良品ショップ」(インターネットショップ)等における情報発信、普及啓発による再生原料や再生可能資源の利用の促進

2012 年度の取組: 認定製品数増加、リサイクル製品を購入している府民の割合の増加
 2012 年度の実績: 認定リサイクル製品数 281 (2012 年度末) (前年度末比 8 増)
 リサイクル製品購入府民割合 2010 年 52.2%⇒2012 年 53.8%
 自己評価:☆☆☆ 認定リサイクル製品数はほぼ横ばい(2008 年度の 345 品に比して減っているため改善要検討)。リサイクル製品を購入する府民の割合はわずかに増加。



ネクスボ関西でのなにわエコ良品展示状況

○産業廃棄物の不適正処理の根絶 (15,490 千円)

・排出事業者や処理業者、土地所有者等への指導・啓発や不適正処理の迅速な問題解決を図る

2012 年度の取組: 不適正処理の未然防止、迅速な解決による適正処理の推進
 2012 年度の実績: 不適正処理件数 2011 年(316 件)⇒2012 年(307 件)
 自己評価:☆☆☆ 不適正処理件数は減少。また、新規事案の解決率 75%を維持。



産業廃棄物の不適正処理現場

全てのいのちが共生する社会の構築

○共生の森づくり活動推進事業 (6,259 千円)

・共生の森(約 100ha)において、府民協働の森づくり活動と自然環境学習等の実施

2012 年度の取組: 共生の森づくり活動への府民の参加促進(参加人数約 1,200 人)
 多様な自然環境の新たな創出(約 1ha)
 2012 年度の実績: 参加人数:1,613 人/年、多様な自然環境の創出:1.6ha
 自己評価:☆☆☆ 想定どおり、多様な主体との協働による森づくりを促進できた。



イタセンバラ

○天然記念物イタセンバラの保護増殖・普及啓発事業 (6,935 千円) ※)

・イタセンバラの生息環境改善のための調査や、イタセンバラを用いた観察会や出前講座の実施等

2012 年度の取組: イタセンバラの繁殖状況等の確認、観察会(100 人)・出前講座(170 人)の開催
 2012 年度の実績: 外来魚駆除を集中的に行った水域で在来種の種類・個体数の急激な回復を確認
 イタセンバラの観察会などで生物多様性の重要性を啓発(対象者約 2,350 名)
 イタセンバラ野生復帰支援の市民ネットワークによる取組(参加者のべ約 1,600 名)
 自己評価:☆☆☆☆ 十分な成果が得られた。

○農空間保全地域制度の推進 (79,846 千円)

・条例に基づき、遊休農地の解消等、府民参加で農空間を守る取組みの推進

2012 年度の取組: 遊休農地の解消 52ha
 2012 年度の実績: 遊休農地の解消 49.5ha
 自己評価:☆☆☆
 自己耕作再開や農地の貸し借りの推進により、遊休農地の解消が進んだ。



農家・地域住民による道普請

注) 「主な施策」の“◎”は新規事業、“○”は継続事業です。自己評価については☆☆☆☆:想定以上、☆☆☆:想定どおり、☆☆:想定以下(改善を要しない)、☆:想定以下かつ要改善 を示します。

※) 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所で実施した事業です。

健康で安心して暮らせる社会の構築

良好な大気環境を確保するために！

○流入車対策の推進 (30,759 千円)

- ・規制適合車等へのステッカー交付及び立入検査・指導を実施
 <参考>ステッカー 98.2 万枚交付(2012.3 現在)



適合車
ステッカー



流入車規制検査

2012 年度の実績: 他府県などから流入する普通貨物車の非適合車の割合が大幅に減少 2007 年度(17%)→2012 年度(1%)
 自己評価:☆☆☆☆ 運送業者や荷主等の協力により規制の効果が発現。

○微小粒子状物質 (PM2.5) の測定 (5,730 千円)

- ・監視測定体制の整備、府民への情報提供、データの解析

2012 年度の実績: 府管理 17 局で連続測定、3 地点での成分分析(年 4 回)を実施。
 自己評価:☆☆☆☆ 想定どおりの測定体制を構築するとともに、国の指針に基づく注意喚起の体制を整備



PM2.5 自動測定機

○光化学オキシダント・VOC 対策 (589 千円)

- ・法・条例に基づく排出規制や化学物質管理制度による自主的取組の促進
 ・光化学スモッグ発令時の府民周知、緊急時措置の対象工場へのばい煙量削減要請

2012 年度の実績: VOC 届出排出量の削減 (2010 年度 10.7 千トン⇒2011 年度 10.3 千トン)
 緊急時対象工場へのNOx削減要請(2012 年度 延べ 1,187 回)
 自己評価:☆☆ 工場・事業場に対し、排出量の把握や緊急時削減計画等を通じて、排出抑制を行うことができた。

○アスベスト飛散防止対策の推進 (48,497 千円)

- ・法・条例に基づく立入検査、測定及び建築物等解体時の飛散防止対策の徹底指示

2012 年度の実績: 解体現場パトロール(137 現場)、セミナー1 回実施
 自己評価:☆☆☆☆ アスベスト飛散の未然防止に資することができた。



アスベスト解体現場パトロール

良好な水環境を確保するために！

○総量削減計画の策定及び推進 (2,050 千円)

- ・第 7 次総量削減計画に基づき、COD、T-N、T-P の府内での発生負荷量の削減を実施

2012 年度の実績: 進捗管理の実施、2010→2011 年度は発生負荷量を削減
 自己評価:☆☆☆ 大阪湾に流入する負荷量を前年と同程度削減できた。



工場への立入検査

○水質汚濁負荷量の削減 ～生活排水対策の促進～ (282 千円)

- ・市町村生活排水処理計画の見直し等の支援
 ・生活排水対策推進月間(2 月)等による家庭における生活排水対策の啓発

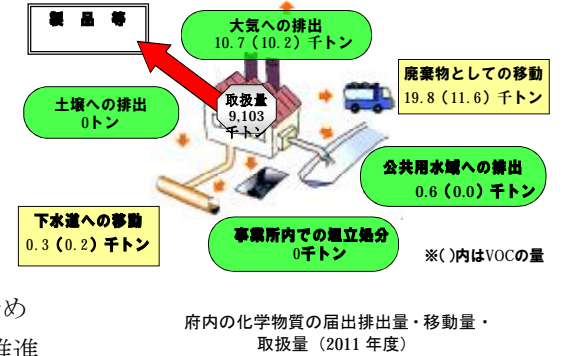
2012 年度の実績: 生活排水適正処理率が上昇(2011 年度末 93.7%、前年度比 0.4%増)、街頭啓発等実施 10 回
 自己評価:☆☆☆ (但し 2012 年度の河川等への汚濁負荷量は集計中)

化学物質のリスク管理を推進するために！

○環境リスクの高い化学物質の排出削減及び

- ・法・条例に基づく排出量等の届出指導による自主的管理の促進
 ・災害時の化学物質リスク低減のためのリスク評価、対策のとりまとめ
 ・化学物質対策セミナー等を通じた府民・事業者・行政の対話の推進

2012 年度の実績: 排出量等の届出受理、データの集計・公表、事業者に対する指導・助言(届出件数:法 1,670 件、条例 1,365 件)、セミナー開催1 回
 自己評価:☆☆☆ 事業者による化学物質の排出削減やリスクコミュニケーションの重要性について周知できた。



魅力と活力ある快適な地域づくりの推進・共通的事項

魅力と活力ある快適な地域づくりの推進

○「みどりの風促進区域」における緑化の推進 (330,304 千円)

- ・「みどりの大阪推進計画」に基づき、官民一体となったみどりづくりを推進

2012 年度の実績: 促進区域内での緑化の推進(年度植栽目標:2500 本)
 自己評価:☆☆☆☆ 促進区域内における重点的な緑化を推進できた。



○生駒山系花屏風構想の推進 (528 千円)

- ・生駒山系を屏風に見立て、花木等の植栽や植栽樹木の管理を府民協働で行う取組を推進

2012 年度の実績: 1 年間で 751 本の植栽を実施(ヤマザクラ、ミツバツツジ等)
 自己評価:☆☆☆ さくら類の植栽により、生駒山の景観形成に努めることができた。

共通事項

○環境技術コーディネート事業 (645 千円) ※)

- ・事業者を対象とした環境技術相談、情報提供及び技術評価(おおさかエコテック)などを実施

2012 年度の実績: 技術評価 5 件、セミナー開催 3 回
 自己評価:☆☆ 環境関連技術・製品の普及促進を図った。運用見直しにより今後の評価件数増を図る。

○関西広域連合における広域的な環境保全対策の推進 (10,224 千円)

- ・温室効果ガス削減や鳥獣保護管理の取組といった広域的な環境保全対策を推進

2012 年度の実績: 関西広域での環境保全対策の促進、中長期的なエネルギー政策の検討
 自己評価:☆☆☆ 広域環境保全の方向性及び将来像を示すとともに、各分野における広域的な取組が進められた。

注) 「主な施策」の“◎”は新規事業、“○”は継続事業です。自己評価については☆☆☆☆:想定以上、☆☆☆:想定どおり、☆☆:想定以下(改善を要しない)、☆:想定以下かつ要改善 を示します。

※) 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所で実施した事業です。